

KANADEN

個人投資家向け会社説明会

株式会社カナデン | 証券コード：8081

2024年12月8日

個人投資家向け会社説明会

1. 会社概要
2. 中期経営計画 ES・C2025
3. 事業概要
4. 持続的な企業価値向上に向けて
5. 株主還元

ディスクレーマー

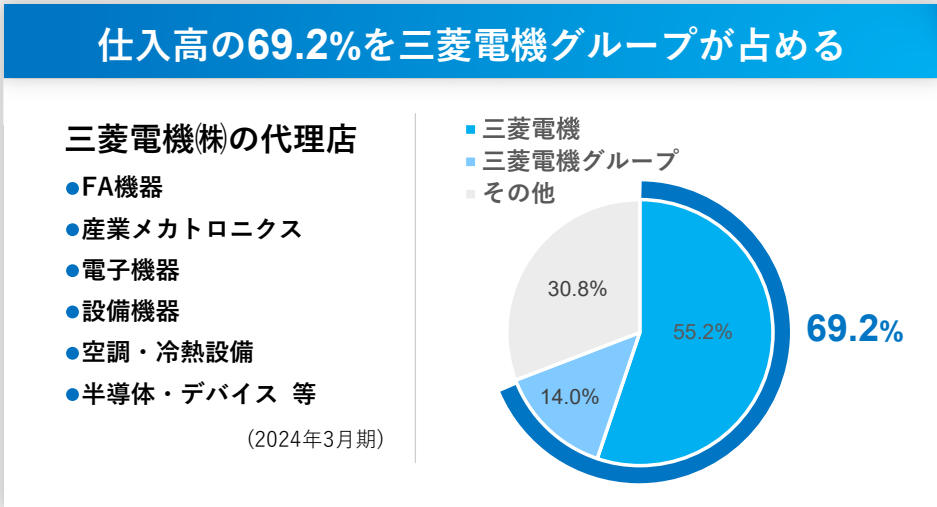
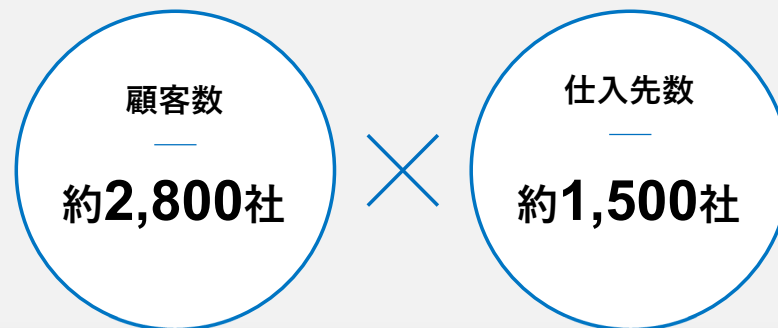
当資料は投資家の参考に資するため、株式会社カナデン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。記載内容は、2024年12月8日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。本発表にて提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みますが、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

1. 会社概要

会社概要

117年を超える歴史を有するエレクトロニクスソリューションズ・カンパニー

商号	株式会社カナデン KANADEN CORPORATION	
創立	1907年 5月15日 (神奈川電気合資会社)	
設立	1912年12月18日 (神奈川電気株式会社)	
本社	東京都中央区晴海1-8-12 トリトンスクエアZ棟	
資本金	5,576百万円	
上場市場	東京証券取引所プライム市場<コード:8081>	
代表者	取締役社長 本橋 伸幸	
従業員数	連結830名 2024年9月末 単体627名	
関係会社	関係会社	12社 (国内5社、海外7社)
	関連会社	1社
	その他関連会社	1社 (三菱電機株式会社)



ひと目で分かるカナデン

KANADEN

カナデンの特徴

1. 歴史と信頼



117年

2. 事業ポートフォリオ



4セグメント

3. 株主還元



配当利回り **4.39%**

(2024/11/27終値より算出)

4. 強固な財務基盤



自己資本比率 **56.1%**

会社情報・財務データ (2024年3月末時点)

売上高

1,162億円

経常利益

49億円

ROE

7.5%

流動比率

186.5%

顧客数

約2,800社

仕入先数

約1,500社

国内拠点数

17拠点

海外拠点数

現地法人**7**社

社員一人ひとりが主体となって 推進する企業理念

Creating New Value for Society

お客さまやパートナー会社、
ひいては社会全体のために、
常に新しい価値を創造し続ける集団となる。
それがカナデングループのありたい姿です。

Mission

Vision

技術と創意で 一步先の未来へ導く

カナデングループの技術と創意、
そしてパートナー会社の技術を
掛け合わせたソリューションで、
世の中をより良い未来へ導いていく。
それがカナデングループの存在意義です。

企業理念であるミッションとビジョンには、これまでのグループ理念の根幹となる精神を引き継ぎつつも、変化の激しいこの時代における“存在意義”、“ありたい姿”をそれぞれ込めています。

新しい企業理念は、社員一人ひとりが納得し腹落ちするものでなければいけません。部門ごとにディスカッションを行い、当社グループの存在意義とありたい姿に関して議論を交わしました。

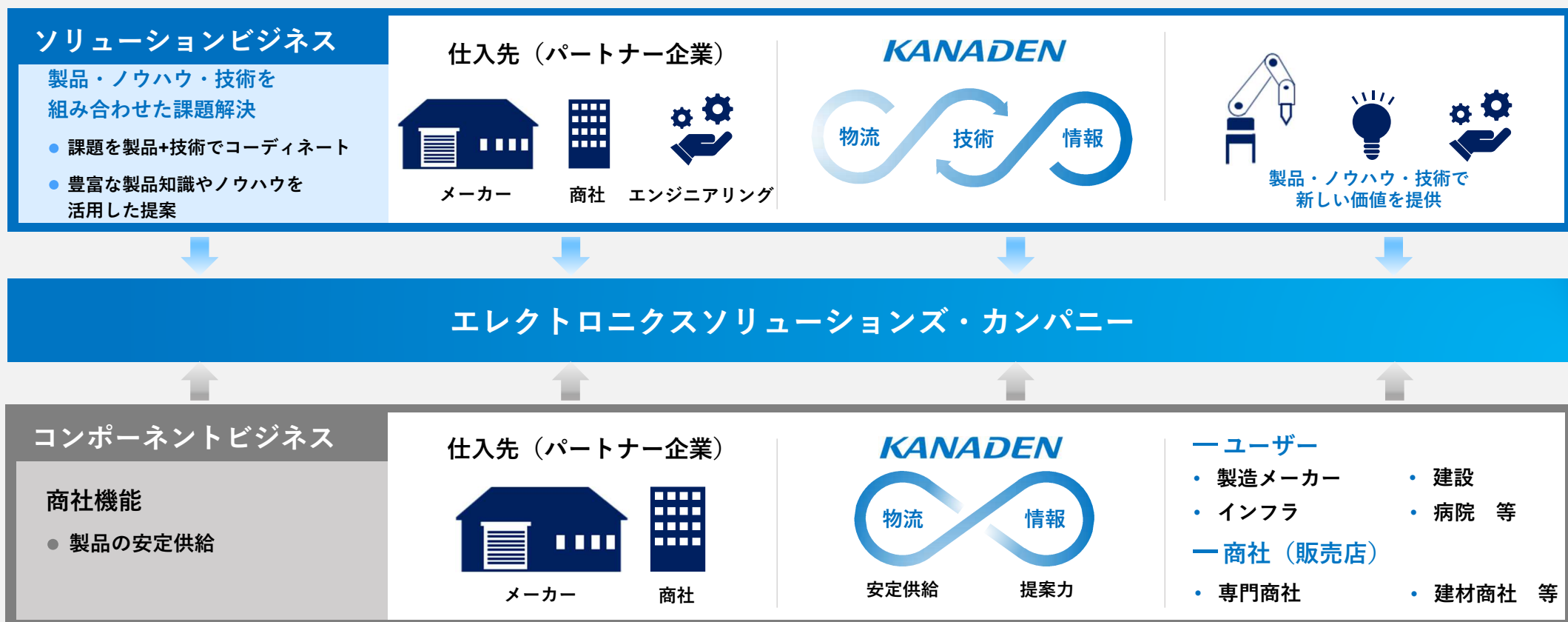
そして、様々な事業を行う当社グループだからこそ、行動指針となるバリューはそれぞれの部門で策定し、必要に応じて見直しを図っています。

お客様のお困りごと、ひいては社会課題の解決に向け、カナデングループ一丸となって挑戦を続けていきます。

ビジネスモデル「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」

KANADEN

- コンポーネントビジネスを収益基盤に、製品・技術・ノウハウを組み合わせた課題解決型のソリューションビジネスを強化
- お客様の企業価値向上と社会課題を解決する「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」を目指す



2. 中期経営計画 ES・C2025

基本方針

SDGsへの取り組みを通じて、社会課題の解決に貢献

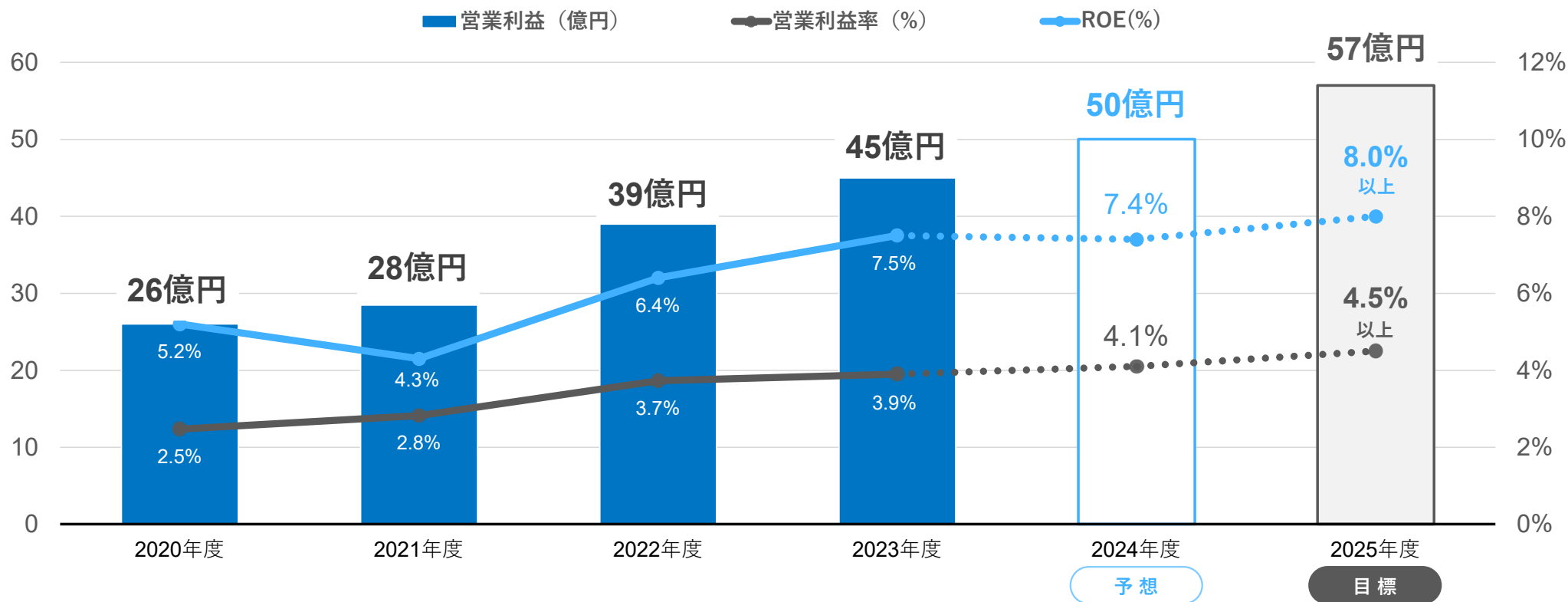


最終年度 数値目標		
	2020年度実績	2025年度目標
営業利益	26億円 利益率2.5%	57億円 利益率4.5%以上
ROE	5.2%	8.0%以上
戦略的投資	売上高100億円の創出	

中期経営計画『ES・C2025』数値目標の進捗状況

- 各指標は増加傾向で進捗中、最終年度（2025年度）の目標達成に向けて各種施策を着実に実行

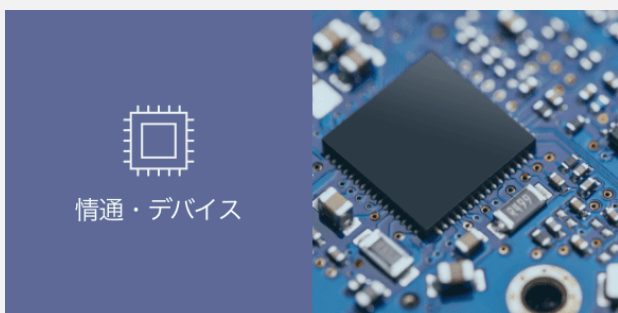
営業利益・営業利益率・ROEの推移



3. 事業概要

4つの事業領域

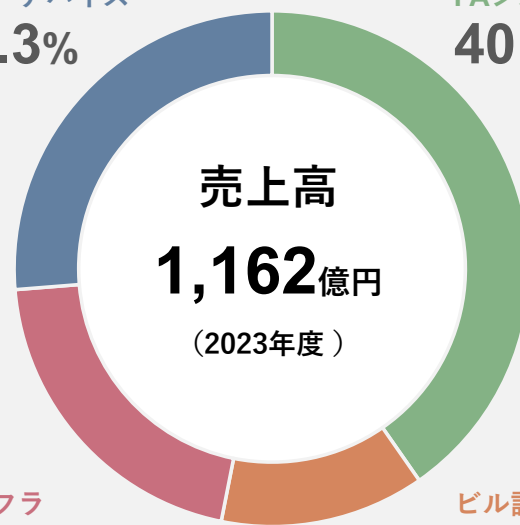
KANADEN



セグメント別売上構成比

情通・デバイス
26.3%

FAシステム
40.3%



売上高
1,162億円
(2023年度)

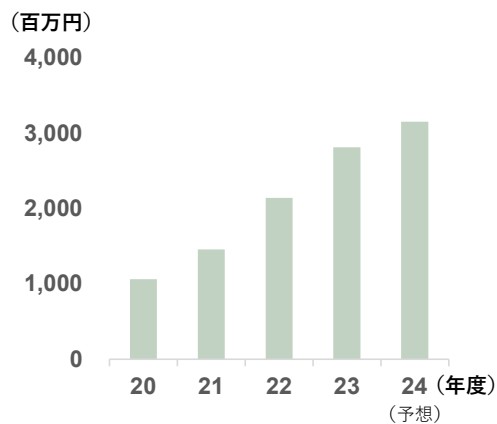
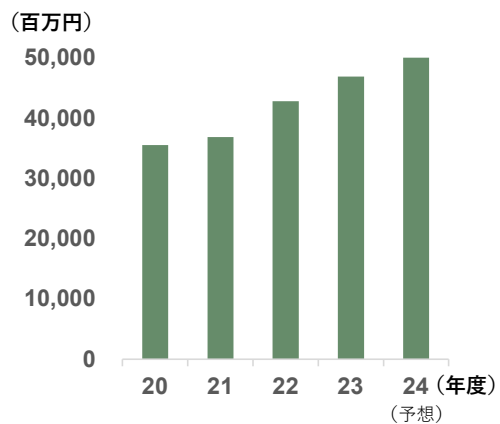
インフラ
20.5%

ビル設備
12.9%



■売上高 推移

■経常利益 推移



■ビジネススタイル

- ①販売店向けのコンポーネント販売
- ②機械製造メーカー向けの装置組み込み型販売
- ③様々な分野の製造業向けにシステムソリューション提案

■主な取扱製品・ソリューション

— FA分野 制御・駆動系機器により生産現場の自動化に貢献



シーケンサ



インバータ



サーボモーター

— 産業システム分野 製造現場における製品・品質管理をトータルサポート



流量センサー



総合生産設備

— 産業メカトロニクス分野 工作機械により製造現場の自動化に貢献



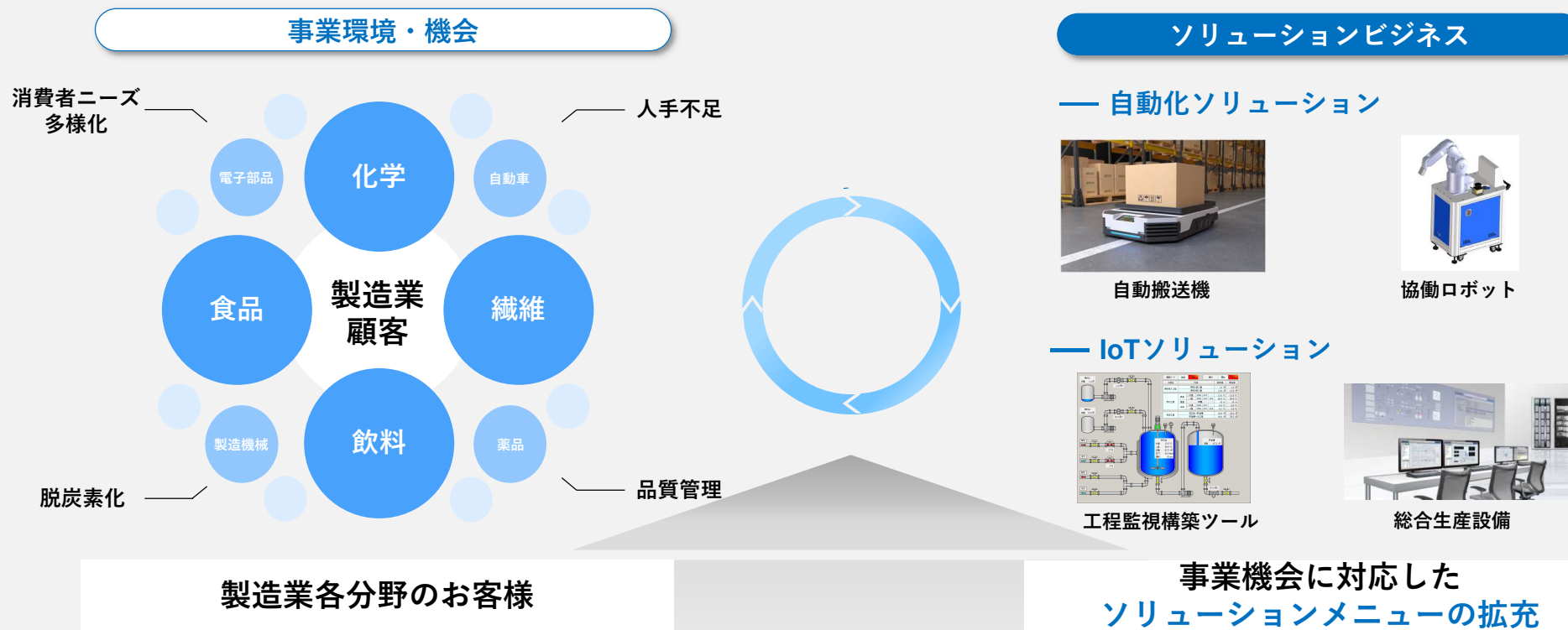
レーザー加工機



放電加工機

FAシステム事業一強み・特徴

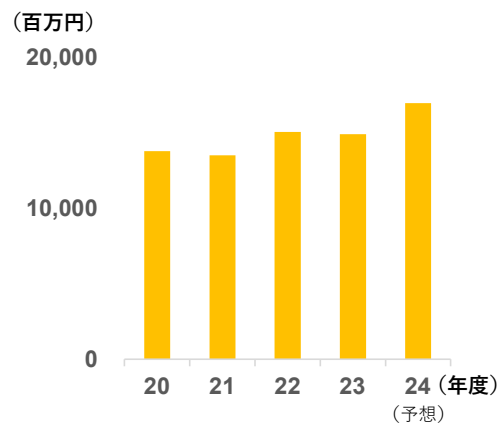
- 長い歴史の中で「信頼と信用」を築き、多くの優良なお客様に恵まれた環境
- 商社機能に留まらず、事業機会を捉えたソリューションメニューを拡充



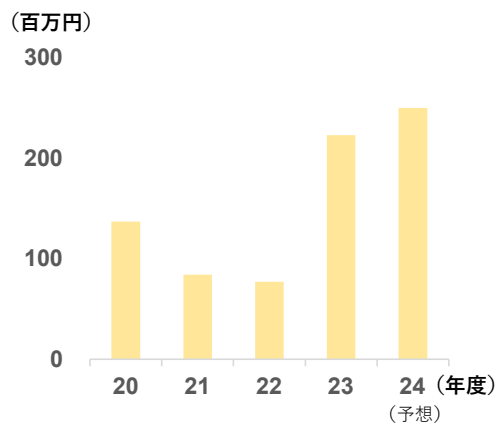
豊富な顧客基盤・パートナー企業の存在と知見

ビル設備事業

■売上高 推移



■経常利益 推移



■ビジネススタイル

- ①総合建設業者（ゼネコン・サブコン）向けのコンポーネント販売
- ②建材商社向けのコンポーネント販売
- ③環境商材による省エネ・創エネソリューションの提案

■主な取扱製品・ソリューション

— 設備機器分野 ビルの運用に必要な幅広い機器とソリューションを提供



無停電電源装置 (UPS)



エレベーター



LED照明

— 空調・冷熱機器分野 空調システム、冷凍・冷蔵機器により、食と住の安全に貢献



空調機器



ショーケース

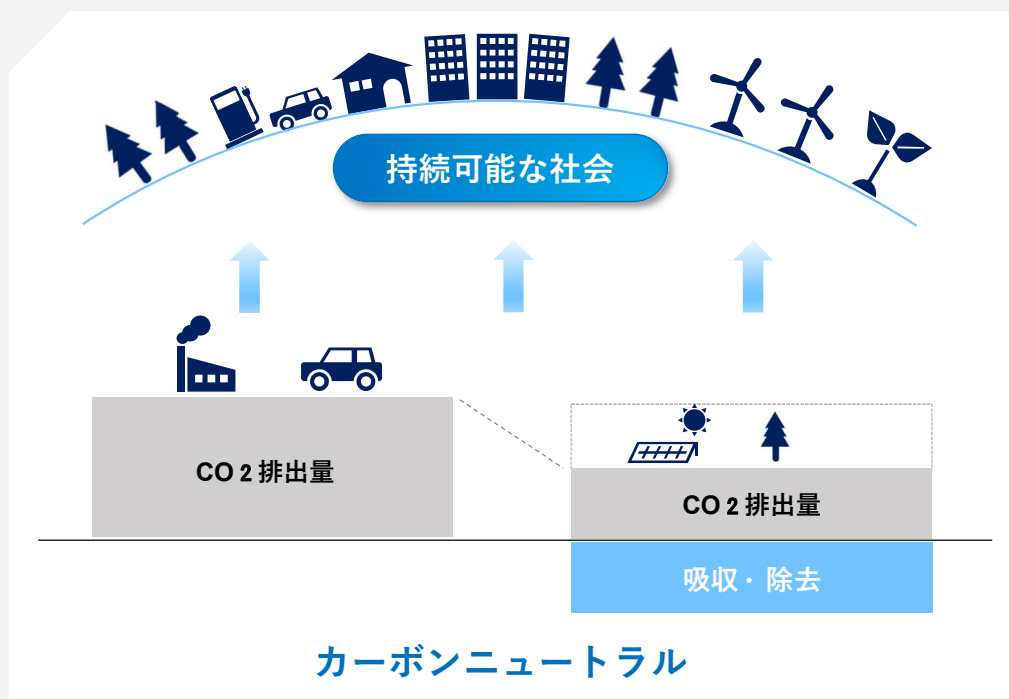


冷凍・冷蔵機器

ビル設備事業一強み・特徴

- 省エネ・創エネ・蓄エネ等のカーボンニュートラルを意識した環境商材を積極的に展開

気候変動への対応



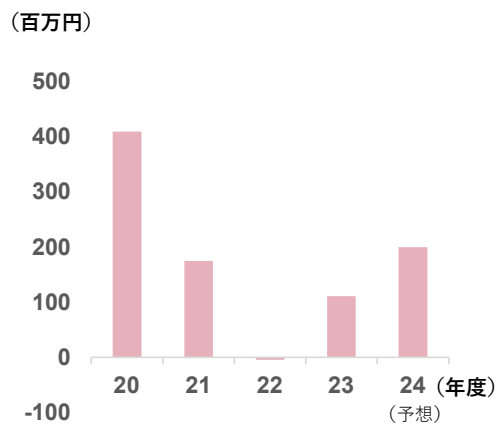
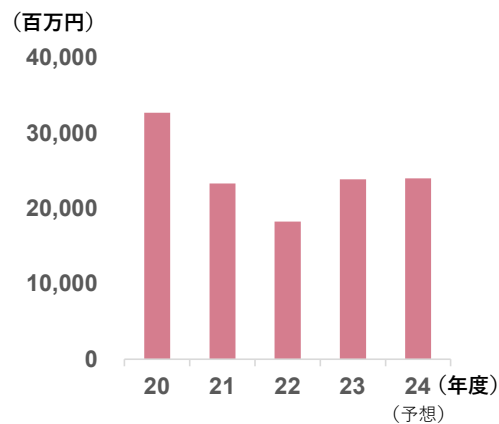
環境ソリューション



インフラ事業

■売上高 推移

■経常利益 推移



■ビジネススタイル

- ①鉄道事業者向け車両用機器や受変電設備の販売
- ②鉄道事業者向けオフレール分野への新規商材販売
- ③官公庁向けインフラ、防犯防災機器の販売

■主な取扱製品・ソリューション

— 交通分野 環境にやさしい安全安心な鉄道インフラの構築をサポート



LEDホーム照明



鉄道事業者向け
受変電設備



車両用空調機
車両用電機品

— 社会システム分野 自然災害対策や安全な公共システムのためのソリューション提供で社会の基盤強化に貢献



防災行政無線



映像システム



EV急速充電器

インフラ事業一強み・特徴

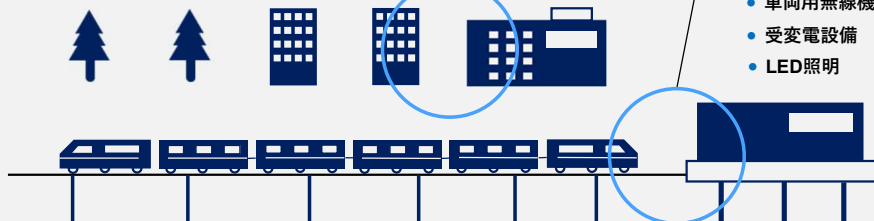
- 広範な事業領域を持たれている「鉄道事業者」や「官公庁（防衛省、航空局、地方自治体）」との取引基盤
- 全セグメントで連携し、「ALLカナデン」として総合力を発揮したビジネス展開

鉄道事業者

オフレール分野（ホテル、商業施設運営）

運輸事業

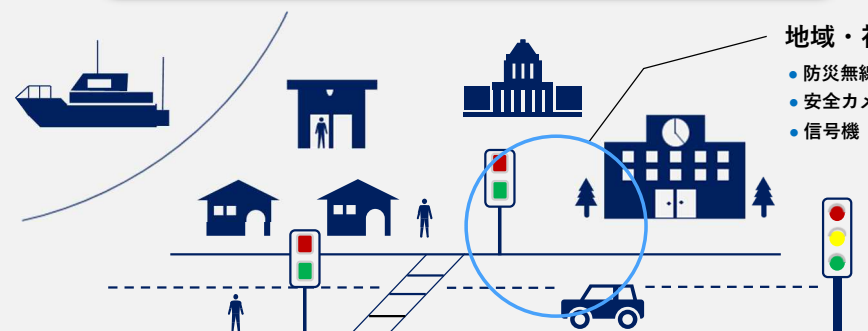
- 車両用機器
- 車両用無線機器
- 受変電設備
- LED照明



官公庁

地域・社会分野

- 防災無線
- 安全カメラ
- 信号機

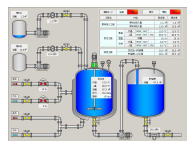


部門間連携の推進

● インフラ×FAシステム

IoT技術を活用したエネルギーの見える化提案

エネルギー監視構築ツール



● インフラ×情通・デバイス

鉄道設備や点検保守業務へ画像・映像ソリューションを提案

画像・映像機器

監視システム



● インフラ×ビル設備

オフレール分野（ホテル・商業施設等）へ環境商材を提案



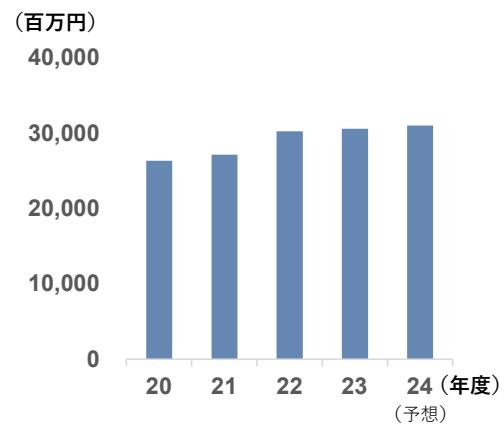
太陽光発電システム

空調機器

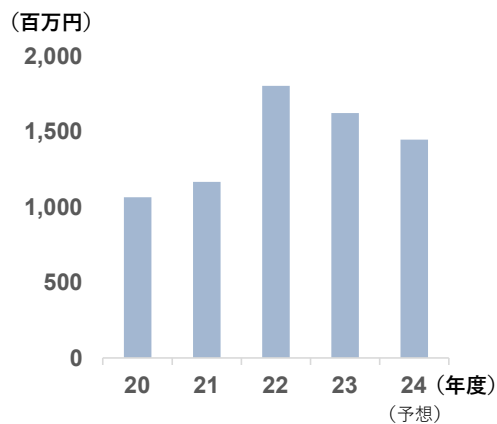
● インフラ 既存ビジネス

安心安全で便利な暮らしを支える社会システムの構築

■売上高 推移



■経常利益 推移



■ビジネススタイル

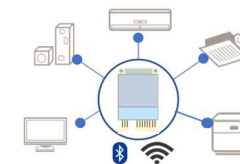
- ①半導体・デバイス機器の販売
- ②セキュリティ、画像解析ソリューションの提案
- ③病院・介護施設など医療施設向けに医療関連機器の販売

■主な取扱製品・ソリューション

— 半導体・デバイス分野 産業機器の効率化、ネットワーク社会に貢献するソリューションを提供



半導体製品



無線モジュール

— 情報通信分野 画像・映像を活用したシステム構築や電子医療装置を提供



画像・映像ソリューション



電子医療装置

情通・デバイス事業一強み・特徴

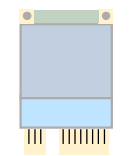
- 無線モジュール製品の開発、半導体・デバイス品における新規商材の開拓
- 画像・映像システムを活用したオリジナルソリューション「FAtis」や、医療・介護分野への提案力強化

半導体・デバイス分野

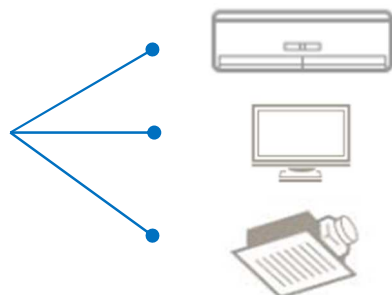
無線モジュール製品の開発

KANADEN

パートナー企業



無線モジュール



パートナー企業と連携し、お客様の環境に合わせた無線ソリューションを提供

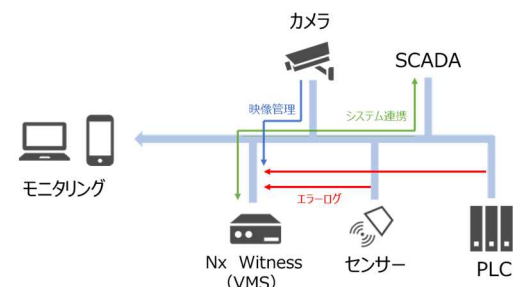
新規商材の開拓

事業環境、世界情勢の変化に備え国内外の商材開拓を継続



情報通信分野

オリジナルソリューション「FAtis」



カメラ映像と各種センサー情報を連携させたシステムで生産現場から社会インフラまで幅広い課題解決に貢献

医療・介護分野への提案力強化

主力の電子医療装置を軸にソリューションメニューの拡充、販売エリア拡大を図る

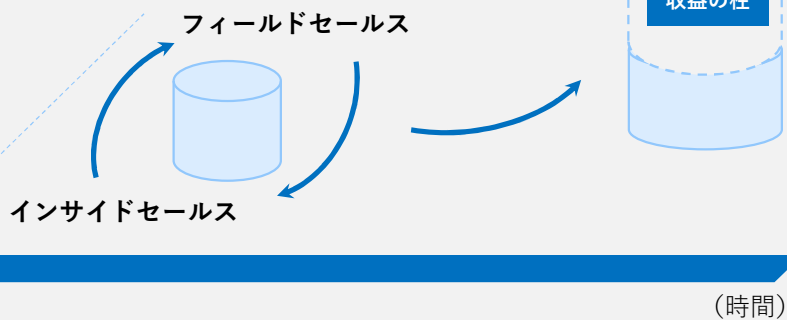




今後の展望

(収益力)

- 新たなマーケティング手法の確立
- 成長性が見込まれる分野への取り組み



見込顧客獲得に向けた取り組み



メルマガ、製品サイトで
配信・掲載中

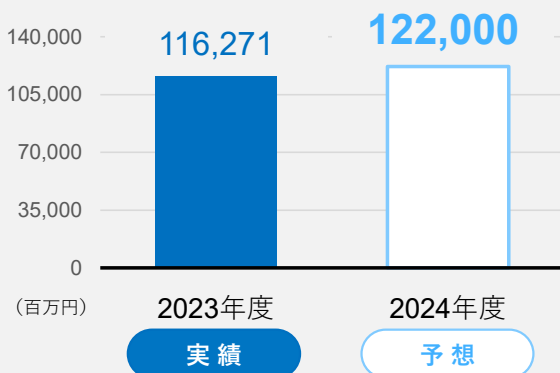
2025年3月期 業績予想

- 中国をはじめ海外経済の減速や半導体分野を中心とした在庫調整など、先行き不透明な状況で推移するものと予想
- 自動化やDX、脱炭素化を中心とした企業の設備投資は堅調に推移するものと予想し、当初の年間業績予想の達成を目指す

売上高

1,220億円

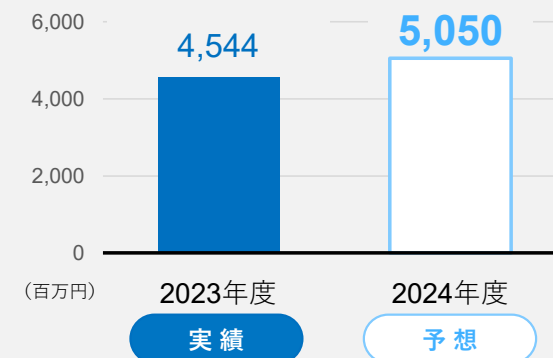
前期比増減率
+4.9%



営業利益

50.5億円

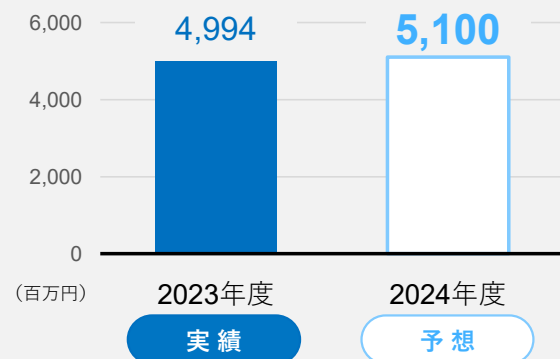
前期比増減率
+11.1%



経常利益

51億円

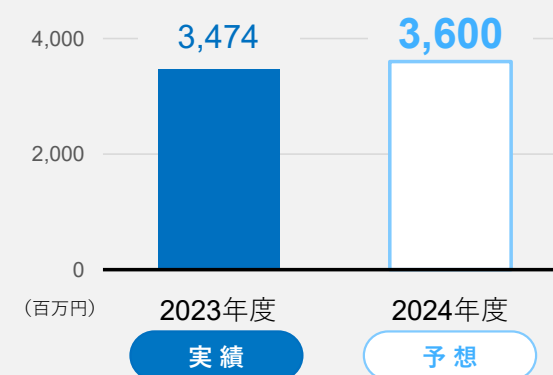
前期比増減率
+2.1%



**親会社株主に帰属する
当期純利益**

36億円

前期比増減率
+3.6%



2025年3月期 セグメント別予想

KANADEN

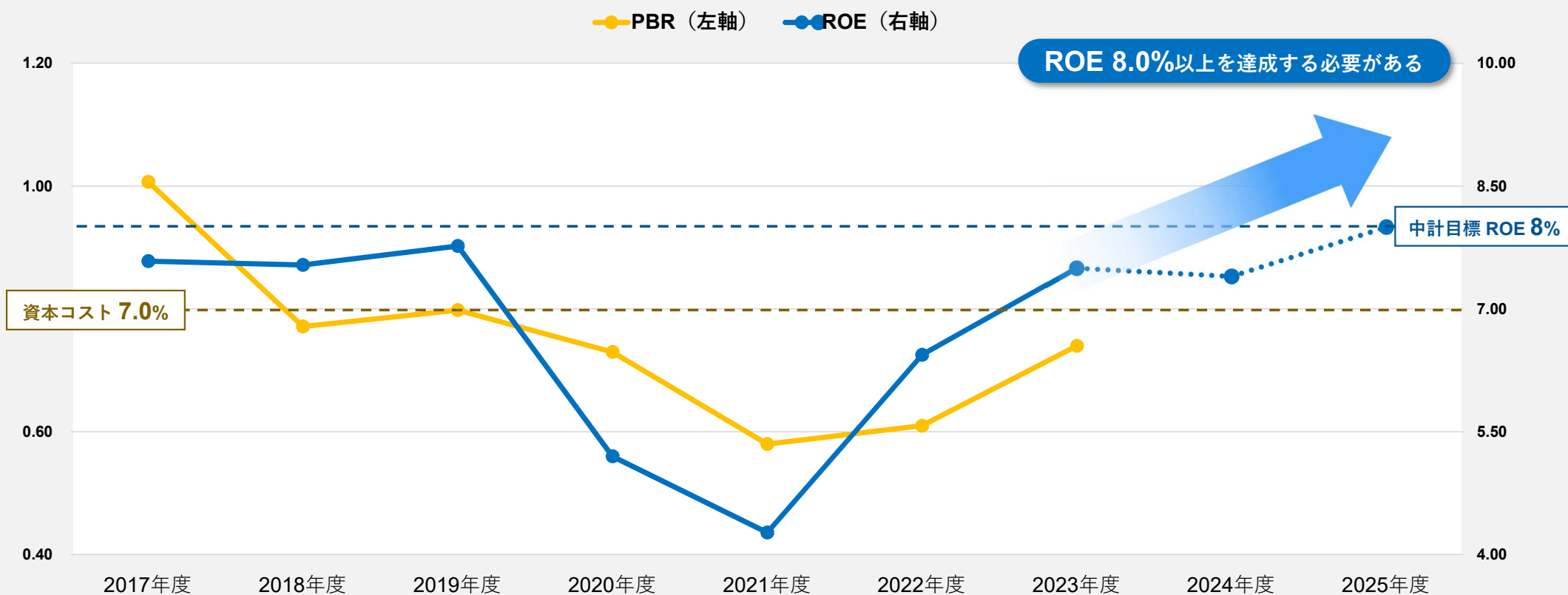
- FA、半導体・デバイス分野ともに一部で在庫調整の回復を見込む
- 自動化、環境関連投資を積極的に取り込みソリューションビジネスの展開強化を図る

		2023年度 (百万円)	2024年度 (百万円)	前年度比増減率 (%)
		実績	予想	
FAシステム 自動化・脱炭素化需要が堅調に推移	売上高	46,890	50,000	6.6%
	経常利益	2,813	3,150	12.0%
ビル設備 空調・冷熱機器の需要回復と電源設備案件の取り込み	売上高	14,933	17,000	13.8%
	経常利益	223	250	11.9%
インフラ 設備更新需要が回復基調	売上高	23,878	24,000	0.5%
	経常利益	111	200	79.7%
情通・デバイス 在庫調整の影響は継続、電子医療機器の案件獲得	売上高	30,568	31,000	1.4%
	経常利益	1,625	1,450	△10.8%

4. 持続的な企業価値向上に向けて

財務戦略 現状分析①

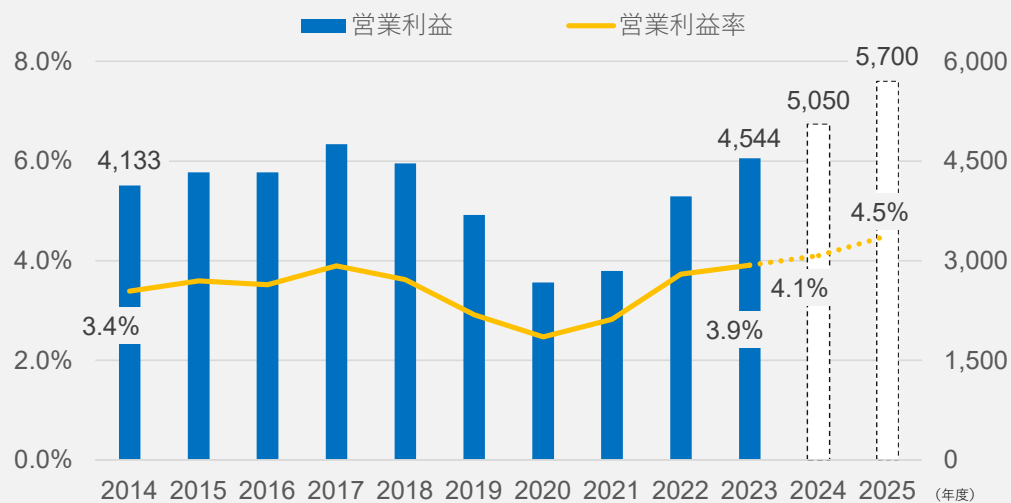
- 当社の資本コストはCAPMでの算定を基に7.0%程と認識
- 資本効率（ROE）は資本コストを上回る水準である8.0%以上を目指す



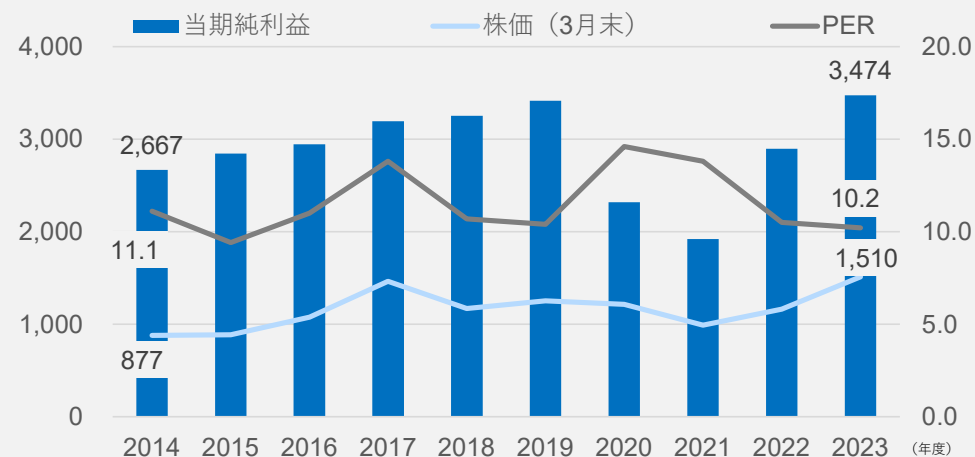
財務戦略 現状分析②

- コロナ禍で落ち込むも、営業利益・営業利益率ともに2022年度以降は右肩上がり推移
- PERは直近10倍ほどと割安な状況が続く

営業利益・営業利益率



当期純利益・株価・PERの関係



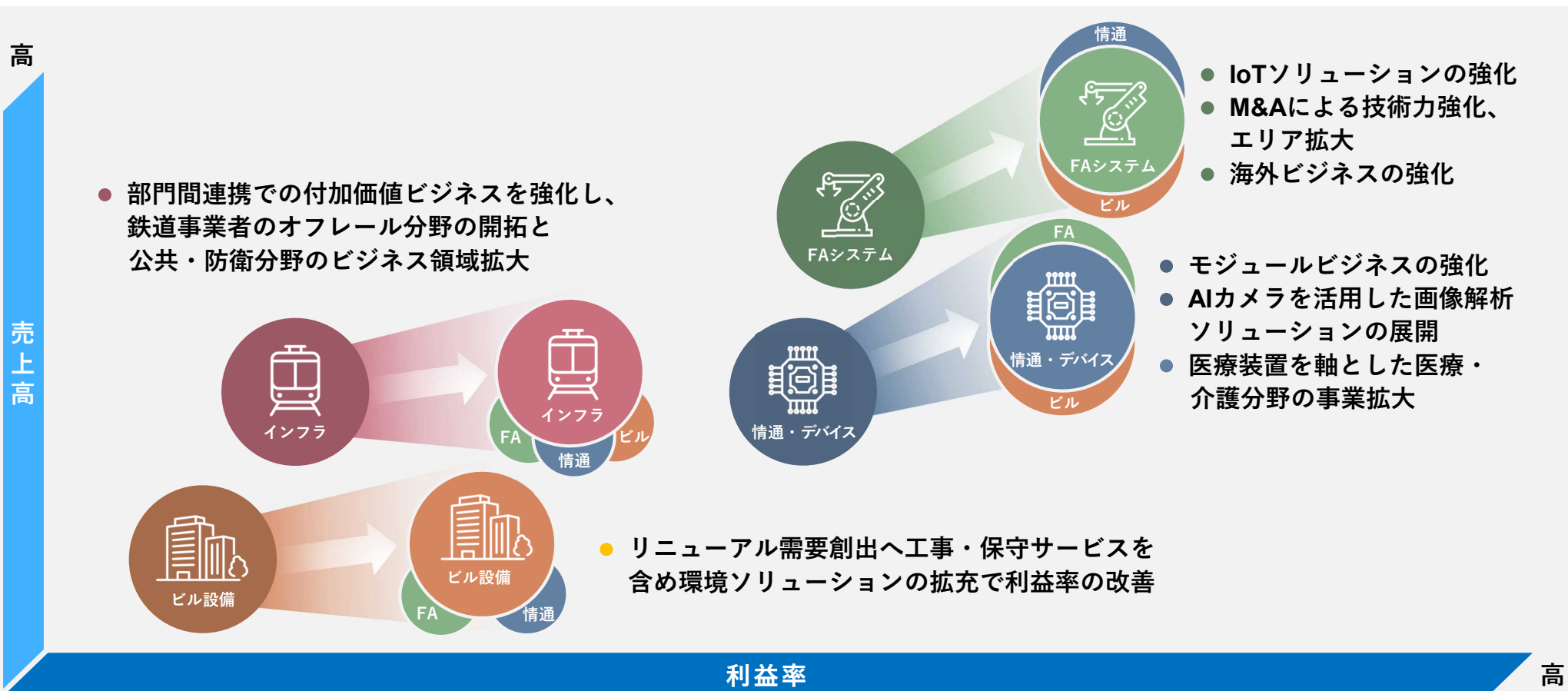
課題

1. 収益力・収益構造強化

2. 積極的な成長投資

3. 資本効率、株価を意識した経営

- FAシステムと情通・デバイスが規模を拡大しつつ、インフラとビル設備含む各セグメントで利益率の向上を図る



財務戦略 キャッシュアロケーション①

- 持続的成長によりキャッシュフローを創出し、財務バランスを意識した新たな成長投資と魅力ある株主還元を両立

財務資本

(ES・C2025 キャッシュイン)

フリー・キャッシュフロー
(5年間累計)

約150億円～

現金同等物 (2021.3時点)

約168億円



キャッシュアウト

(ES・C2025 投資額)

約90億円

成長投資

約95億円

株主還元

90億円～130億円

運転資金

財務戦略 キャッシュアロケーション②

- 資本コストを意識した経営資源の投下・配分による事業ポートフォリオ戦略の実践
- 適切な資本政策・株主還元の実施による資本効率の向上を図る

キャッシュ用途		
成長投資	(ES・C2025 投資額)	
	約90億円	<p>人的資本 投資額 10億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プロフェッショナル人材の獲得 ● 教育体系の整備と育成のさらなる充実 ● 人材と働き方の多様性の推進
		<p>知的資本 投資額 30億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報の蓄積・活用によるDXの推進 ● 取引情報やニーズの共有によるソリューション拡充 ● 新規ソリューションの開発
		<p>社会関係資本 投資額 50億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● M&Aによる新技術、新領域の獲得 ● パートナー連携強化による新技術獲得・安定供給の実現 ● 顧客ポートフォリオの多様化による収益基盤の安定性強化
株主還元	約95億円	<p>配当 配当額 56億円～</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資本効率（ROE）の向上 ● 収益性の向上と安定した株主に対するリターンの両立 ● 配当政策の更なる改善
		<p>自社株買い 還元額 38億円～</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自己株式取得実績 3,811百万円 ● 機動的な自己株取得を実施
運転資金	90億円 ～ 130億円	<p>安定した財務基盤 CCC 1.4ヶ月</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在庫圧縮を図り、コロナ前の水準まで改善 ● 債権・債務は現状維持で収支差 1.4～1.7ヶ月 ● 運転資金として1.0～1.5ヶ月分確保

5. 株主還元

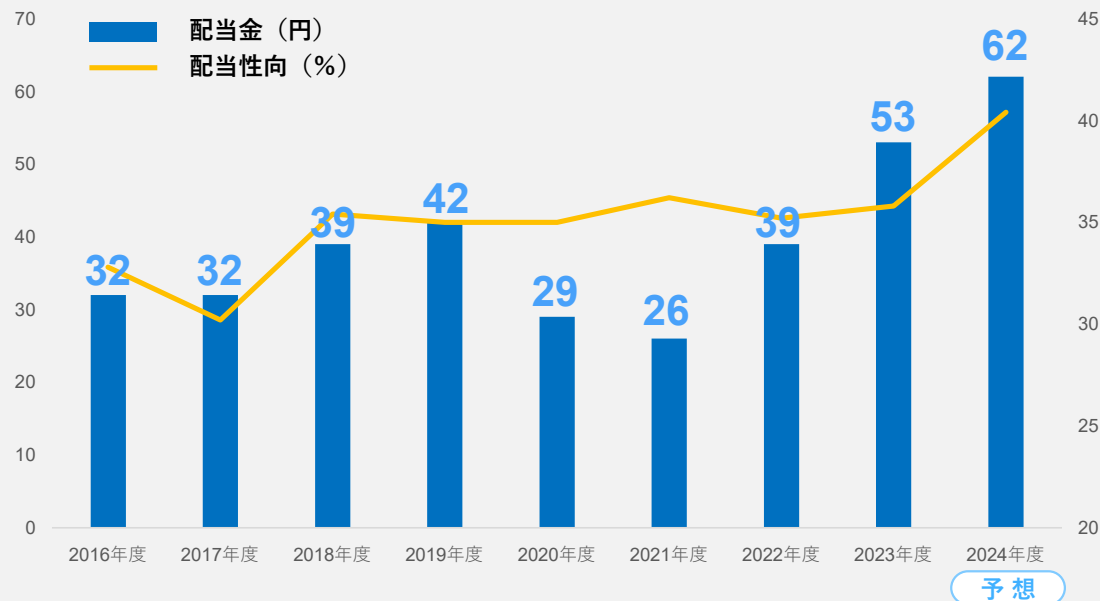
配当予想及び株主還元について

- 2024年度は配当性向を40%に引き上げ、予想配当は62円
- 利益成長に合わせた配当の拡大を目指す

配当方針

堅実性と成長性を併せ持った「健全経営」を確実に推し進めていくため、
将来の事業展開と企業体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ配当性向 **40%** を基準指標に安定した配当の維持継続に努める

配当金と配当性向の推移



自己株式の取得

- 2014年度から2022年度にかけて累計**116億円**の自己株式取得を実施
- 政策保有株式の縮減や株式流動性を高めることで、最適な資本構成を目指す

年度	2014	2017	2018	2020	2021	2022
取得金額 (億円)	34.5	7.4	15.1	21.4	1.5	36.5
取得株式 (千株)	4,300	500	1,186	1,704	156	3,235

株主優待制度

- 中長期にわたり多くの株主さまに株式を保有していただくことを目的に、株主優待としてクオカードを贈呈
- 1単元（100株）以上を保有されている株主さまを対象に、毎年3月31日および9月30日を基準日として2回実施

保有期間 保有株式数	1年未満	1年以上
100株以上	500円分	1,000円分
1,000株以上	1,000円分	3,000円分

継続保有期間は、当社株主名簿に記載された「株主番号」が同一であることを確認し、毎年3月31日および9月30日に確定いたします。なお、保有する当社株式の全てを一旦売却するなど、株主名簿に記載される「株主番号」が同一でなくなるといった記載の連続性が途切れる場合は、保有期間が変わりますのでご注意ください。

100株保有した場合の予想配当利回り

株価 (11/27終値)

1,411円

年間配当金

6,200円

予想配当利回り

≒ **4.39**%

株主優待を含む100株保有した場合の実質利回り

年間配当金+株主優待相当額

7,200円

実質利回り

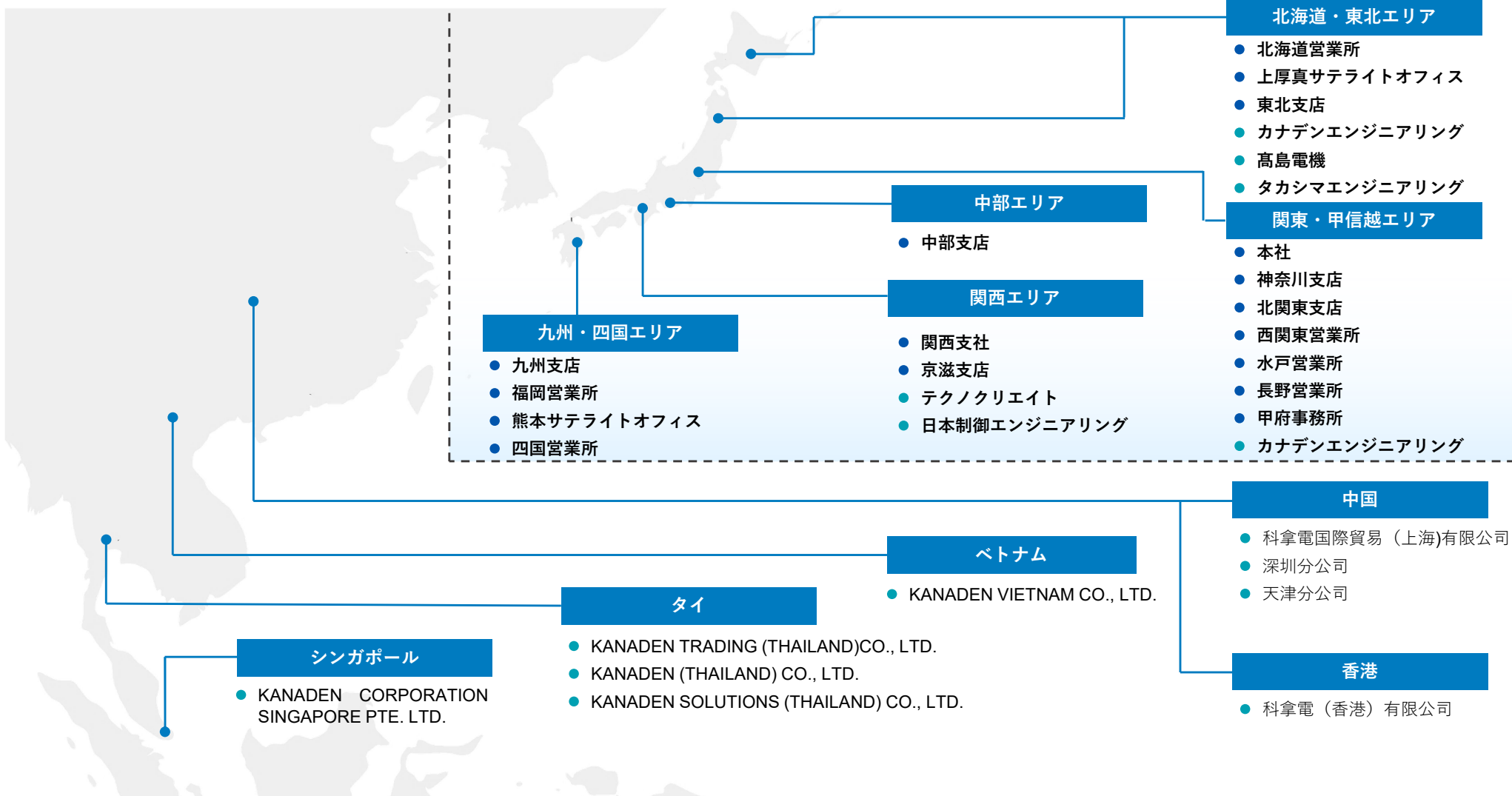
≒ **5.10**%

予想配当利回りについては税引前の金額を対象としています。株主優待は1年未満500円分クオカード2枚を年間贈呈される場合としています。
ご購入の際に必要な証券会社売買手数料などは含んでおりません。株式ご購入の際の手数料などにつきましては、お取引先の証券会社にお問い合わせください。

Electronics Solutions Company
KANADEN

appendix

グループネットワーク



株主構成と株価の推移

- 株価は2022年4月から2024年11月にかけて、**約1.5倍**に伸長。

